

## 第8回北九州市安全・安心推進会議（書面開催）におけるご意見に対する回答

### 議事1 北九州市安全・安心条例行動計画（アクションプラン）の結果報告

	ご意見	市の考え方
1	方向性として順調に推移していると思う。	
2	街の雰囲気として、計画の成果が感じられる。	行動計画に掲げる「日本トップクラスの安全なまち」「誰もが安心して暮らせるまち」の実現に向けて、引き続き、安全・安心なまちづくりを推進してまいります。
3	安全・安心まちづくり活動の成果が改善され、御尽力に敬意を表す。更なる推進にはげみましょう。	
4	今後の方向として、例えば刑法犯の中で少年の犯罪についてはどうかと細かい施策も必要になってくると思う。	少年犯罪を巡っては18～19歳を厳罰化すること等を柱とした少年法の改正案が本年の通常国会で審議される予定となっています。本市では、青少年の非行防止や非行等からの立直り支援の取組みを推進していますが、国の動向等を注視しながら、社会情勢に応じた取組みを検討、実施してまいります。
5	都市イメージについて他都市の一般市民の人々におけるイメージを更に向上する必要があるかと思う。他都市の人々が北九州へたくさん来ていただく方策になるかと思う。	市民生活はもとより、企業誘致や観光振興等の観点からも都市イメージの向上は非常に重要であると考えています。本市では、これまで各種マスメディアや東京で開催されるイベント等を活用し「安全・安心なまち北九州」をPRしてきました。こうした取組みの結果、市民の体感治安は着実に向上しており、令和元年度に実施した市の調査では過去最高となる86.1%の市民が住んでいる地域を「安全だ」と回答しています。一方で過去の凶悪事件等の影響により、全国的には本市に対する「負のイメージ」が根強く残っており、都市イメージの向上に向けた更なる取組みが必要となっています。そのため、今後はSNS等を活用し、本市の刑法犯認知件数の大幅な減少や暴力団情勢の劇的な改善、市民の体感治安向上など、これまでの安全・安心なまちづくりの成果を市内外に向けて積極的に発信してまいります。
6	【防犯カメラ設置補助実績】令和2年度に、自治会から設置に関するアドバイス依頼があり現地調査、参考見積を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自治会の総会が開けず、補助金申請ができない自治会があることもご承知いただきたい。	ご指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自治会総会等が開催出来ず、その結果、補助金申請を見送る自治会等があることは承知しています。そのため、令和2年度は特例として、補助金の申請募集期間を増やす等の対策を講じてきたところです。今後とも防犯カメラの普及を図るため、活用しやすい補助制度となるよう工夫してまいります。

### 議事2 北九州市安全・安心条例第2次行動計画（アクションプラン）の一部改定について ～地方再犯防止推進計画としての位置づけ～

	ご意見	市の考え方
1	新しい考え方、方向性が重みづけされていれば良いのではないか。	今回の計画改定は、「犯罪をした者の立ち直り支援」等の再犯防止に関する施策を盛り込んだ行動計画を地方再犯防止法に基づく地方再犯防止推進計画として位置付けるため、所要の改定を行うものです。今後は関連施策の進捗状況や効果検証を行いながら、再犯防止の取組みを推進してまいります。
2	議事1の意見で記した、少年犯罪や都市イメージについて、内容に折り込められていると良いと思う。	ご指摘の内容については、「方向性Ⅲ 安全・安心に関する相談及び支援体制の充実」（1）青少年等の非行等からの立ち直り支援及び「方向性Ⅳ 安全・安心な都市イメージの発信」（2）安全・安心なまち北九州市の情報発信において、それぞれ主要施策としての位置付けを行っているところですが、引き続き、社会情勢等に応じた取組みを推進してまいります。

3	<p>少子化対策の一面からも、せっかく生を得た子どもを健やかに成長させ、大人へ発育させる間、交通安全面（通学上）、少年犯罪、いじめ等の問題を深堀させる方向で考えてほしい。</p>	<p>本市の将来を担う子ども達が、地域において安全・安心で健やかに育っていくことは、安全・安心なまちづくりを次の世代に継承していく上でも非常に重要であると考えています。</p> <p>そのため、行動計画では、安全・安心なまちづくりにおいて、子どもを特に配慮すべき対象と位置付け、子どもの見守り活動の推進など様々な取組みを実施してきたところです。</p> <p>一方で、交通事故や薬物乱用、いじめ等、子どもを取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いていることから、引き続き、子どもの見守り活動の推進をはじめ、青少年の非行等を生まない環境の構築、通学路等の安全確保など、ソフト・ハード両面で子どもの安全対策を推進してまいります。</p>
4	<p>協力雇用主と連携した就労支援のPR探索が必要と思う。</p>	<p>再犯防止においては、協力雇用主や矯正就労支援情報センター（コレワーク）など関係機関と連携した就労支援の取組みが非常に重要であると考えています。</p> <p>犯罪をした人等が再び地域社会の一員として円滑に復帰できるよう、引き続き、協力雇用主や関係機関と連携した就労支援の推進や再犯防止に関する市民意識の醸成に向けたPR活動等に取組んでまいります。</p>
5	<p>「安全・安心なまちづくり」を次の世代に継承する・・・目指す目標を進める方策が見えないと思う。</p>	<p>安全・安心なまちづくりを次の世代に継承していくためには、市民一人ひとりが当事者意識を持って安全・安心に資する取組みを自発的に行うとともに、安全・安心に関する地域活動の活性化とあわせて、地域防犯活動等の新たな担い手を育成していくこと等が重要と考えています。</p> <p>そのため、現在、安全・安心に関する市民意識の醸成に向けた広報啓発やパトランや学生ボランティア等の安全・安心なまちづくりの新たな担い手の支援、事業者による防犯活動の促進等に取組んでいるところです。</p> <p>こうした取組みを着実に進め「誰もが安心を実感できるまち」の実現を図るとともに、安全・安心なまちづくりを次世代に継承したいと考えています。</p>
6	<p>【自転車盗・万引き行為防止のための啓発活動について】 スーパーマーケット、ディスカウントショップなどの防犯診断に伺うと、会社により防犯に関する意識に温度差がある。 防犯意識の低い会社への意識向上のための活動も必要と思われる。</p>	<p>安全・安心なまちづくりを行う上で、地域社会の一員である事業者や従業員の皆さんが安全・安心なまちづくりについて、知識を深め、安全・安心に関する活動に主体的に参加していただくことは非常に重要であると考えています。</p> <p>そのため本市では、安全・安心推進課に配置する安全・安心推進員（県警OB）が市内の企業を訪問し、安全・安心なまちづくりに関する各種取組みの紹介や自主防犯パトロール活動への参加促進等を行い、事業者の防犯意識の向上等に努めています。</p> <p>今後も安全・安心推進員による企業訪問やイベントなど様々な機会を通じて、安全・安心なまちづくりや防犯意識の向上に努めてまいります。</p>